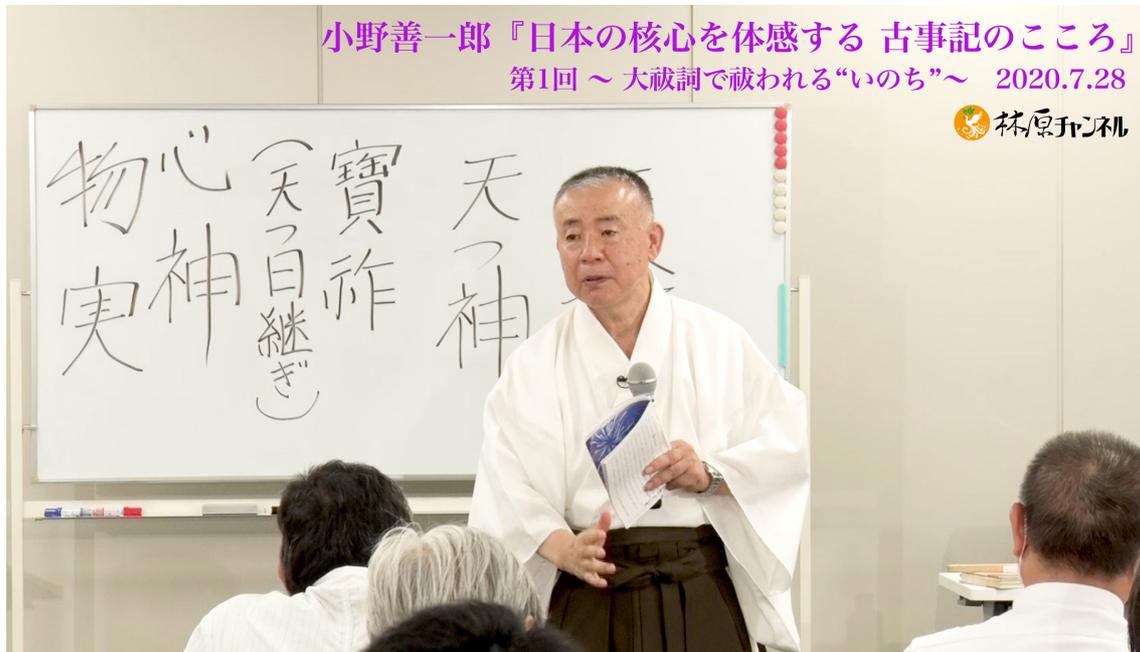


小野善一郎 日本の核心を体感する古事記のこころ講座 第1回

林原チャンネル 2020.7.28

<受講者の皆様からのご感想まとめ>



・先生が、学問ではないと仰る通り、古事記や日本書記の解説を聞くのでは無く、もっと根源的な、魂に響くお話でした。次回以降も楽しみにしております。

・小野先生のお元気なお声が何よりの励みになります。ありがとうございました。

・小野先生におかれましては、いつも心に響くお話を賜り厚く感謝申し上げます。林原チャンネルの先生方は皆さん素晴らしく、混迷を極める現下に、たくさんの気づき与えていただき感謝しております。貴チャンネルの益々の弥栄を心より祈念しております。

・いつも変わらぬ小野先生のパワーに感動。なお一層のご自愛と林原チャンネルがもっともっと世の中に浸透して行きますように！

・小野先生のお話は(馬淵先生の「和の国～」の頃から)動画では何度も、生の講演もこれまでに5回くらい伺っているのですが、お声に凄まじいパワ

一が込められていて(まさに言霊！)、毎回背筋がしゃんと伸びます。

・小野先生のお話を伺うたびに、一貫した命の尊さ、閉鎖的な一神教とは全く違う、全てのものの中に神は宿る(八百万の神々)という日本精神の素晴らしさ、一神教的な価値観が世界で争いを起こし続けている中で、日本人として生まれてきたことの意味と使命について深く考えさせられます。

・小野先生のお話を定期的に伺うことで己の中の異心(ことごころ)を祓い、気持ちを新たにさせていただいております。最後の全員での大祓詞、心を込めて唱えさせていただきました。

・小野先生 ますますパワーアップされて、私も元気を頂きました。ありがとうございました。大祓詞は、毎日唱えています。これからの先生のご活躍を、楽しみにしています。林原チャンネルを通じて、より多くの心ある皆さんに、小野先生と大祓詞を知っていただきたいと期待しています。

・小野先生は今年度から渋川八幡宮に行かれたことに加え、今回のコロナ禍により(これからはなかなか先生の生の講演を聴けなくなってしまうのかな…(・ω・))と思っていた矢先、林原チャンネルさんで2か月に一度の連続講座を開催していただけることになり、小野先生と林原チャンネルさんに本当に感謝しております。(後日の動画配信も！)
ありがとうございました<(_)>

・最後に全員で大祓祝詞を唱えた時は一体感を感じられて貴重な経験でした。

・一番印象に残った言葉は、「言語化できない命 -心神-」でした。このセミナーを受ける前から私が期待していたこと、寸分の過不足なく、とても分かりやすく小野先生から教えて頂きまして、とても感謝しております。そしてそれは、私が期待している以上の内容でした。

仕事で生命が生まれる瞬間の story をいつもリアルに見てきましたので(不妊治療関係)、いのちには多大なる関心があります。

今回、こころの中の神様のことを神道の世界では「心神」と呼ぶことを、初めて知りました。自分のこころの中には「神様の宮殿」があると教わってきたカトリック・クリスチャンの私として、小野先生の教えはとても心地よい「言葉」

でした。今もその言葉の響きの余韻があります。

また、歴史オタクである私は、日本書紀よりも古事記は大好きなのですが、歴史書としてよりも日本古来の思想を反映した文学書として素晴らしい価値があると思っております。なんと読んでも飽きないです。

小野先生がおっしゃった言葉『「大祓詞」の観点から古事記を分析します』にワクワクしました。「あめつちはじめに」に戻ってゆこうと、言(ことば)をかぶせられた先生が印象的でした。

古事記の文章の行間に、トレースラインを見せてくださり、今までとはまた違った古事記の物語に、私はこれからまた体験してゆけると思うとワクワクします。

旧約聖書と古事記にとりつかれて それをどう今の自分の生き方にそのエッセンスを転用していこうかと考えながら、小野先生の講義を聞いていたのですが、途中で頭で考えるのをやめました。言語化できない「いのち」を、すなおにそのままに受け入れた方がよいと思ったからです。

次回の9月のセミナーをとっても楽しみにしております。先生の伝える世界観を、現代人にありがちな言語化されたコンパクトなメッセージとしてではなく、はじめからあったもの、本来私たちが持っていた命(=言)で感じたいと思っております。

できるかどうかは一生の宿題だと思っていますので、あせらずに先生の感じておられる世界観に触れたいと思います。

最後に、小野先生の「言」を発信している林原チャンネルの全てのスタッフさんに感謝をしています。神道の世界をこれからも発信続けてくださいませ。本当にありがとうございました。

・小野 善一郎先生、この度は貴重なお話をお聞かせいただき、誠に有難うございました。自我を超克し、本源の「いのち」(天照大御神)へ回帰すること、本当に今、我々に求められていることだと心にしみました。

私は現在、外資系の人事組織コンサルティング会社で働いているのですが、人材開発、組織開発の世界でも、以前は自己を確立し、自己実現を行うことに主眼がおかれていましたが、最近、特にリーマンショック以降、自己超越(トランスパーソナル)が欧米で注目されはじめています。

しかしながら、その必要性は認められつつあるものの、どう実現するのかは手探りの状況と言わざるを得ません。

「最近は海外からの問い合わせが多く来るようになった」というお話を小野先生からお聞きし、ストンと腹に落ちるものを感じました。そして、日本には神道というすばらしい財産があり、自己を超克するための教えが脈々と受け継がれていることに大きな希望を持つことができたとともに、それらを残していただいた先人の方々にふつふつと感謝の念が湧いてきました。

また私は、ライフワークとして合氣道の稽古を続けているのですが、そこでの学びと小野先生に教えていただいたことがあまりにも一致しており、大きな驚きを感じました。

合氣道でも自我を超えたところに本当の自分、誠、神が存在し、相手と対立し、相手をどうこうするのではなく、本当の自分に帰ること、中心に帰納することが重要であることを教えていただきました。

それらは本日ご指導いただいた「心神」とピタリと一致し、やはり、日本で“道”をつくものの根源は神道なのだと確信し、更に小野先生から神道を学ばせていただきたい気持ちが強くなりました。

次回も参加させていただきます。引続きのご指導、何卒宜しくお願い申し上げます。



2020.7.28 虎ノ門 共同通信会館ビル 5Fにて

<小野善一郎講座・レポート>

.....
小野善一郎「大祓詞で祓われる“いのち”」を体感して
.....

荒井南帆（福島県会津出身・30代女性）

○ 聴いて体感する“いのち”の授業

渋川八幡宮禰宜、小野善一郎先生の講座には、今回が初めての出席となりました。

そもそも、専門家から古事記や神道に関するお話を聴くこと自体が人生初めてのことです。

林原チャンネルメールマガジンの存在を知るまでは、「古事記」は日本にとって、今までもこれからも大切なものであるという漠然とした思いはあるものの、歴史好きの人、日本のルーツに関心の高い人といった、一部の人たちが手に取る書物という思い込みがありました。

自分から進んで読もうという気持ちもまったく持っていませんでした。

しかし林原チャンネルのメールマガジンを読み、尊敬して止まない馬淵先生や田中先生のお話に取り上げられたことから、自然と興味がわき、今回の講座の受講に至りました。

お話は小野先生の自己紹介から始まりました。

私と同じ福島県生まれということで少し親近感を沸きつつ、
20代の頃は政治家になりたい一心で、国会と岐阜を行き来していたこと（ご縁があり岐阜県の代議士の元で秘書をされていたとか）
22歳の時、神道と国史学の師匠・近藤啓吾先生との運命的な出会いと師弟関係について、
33歳のときに大きな事故で一命を取り留め、精神的にも肉体的にも大きな転換点を迎えることになり、“心神の思想形成”の研究への道を志したこと
.....。

小野先生は響き渡る声で、真っ直ぐな姿勢で、よどみなくお話になります。

その声にじっと集中すると、自分に喝を入れられるような、目を覚まされるような感覚にもなりました。

先生の佇まいに圧倒され、背筋を伸ばそうとするうちに本編が始まっていました。

本講座のテキスト「時代の大転換点・これからの日本人としての心構え」をもとに、天地一貫の「いのち」とはどのようなことか、本来の心から離れた状態である「異心」(ことごころ)を祓い、この世の初めからある神様の「いのち」と一つになるということ、などといった、日本人が古来から連綿と守ってきた在り方のほか、自然界や宇宙との関連性、全体の構造について、神道の世界の視点をを用いて説明しながら教えてくださいました。

最後は先生の先導のもと、参加者全員で「大祓詞(おおはらいことば)」を奏上して締めくくりとなりました。

○ 今後の個人的な目標として

「いのち」を見て感謝する生活を送ることができるように、日々、異心を祓うことを実践したいという目標ができました。

また、“自我の奥”という、論理・合理のさらに下にあり、滅びない「いのち」と一続きになっている領域の存在・・・、“軸足を自我の奥に置く”という在り方についてお話を伺ったことも今回の大きな収穫で、好奇心を刺激されました。

一つの知識としてではなく、今後も継続して講座を受講したり、生きること全体を通してさらに探求し、体認できるようになりたいと思っています。

○ 受講後にあらわれた不思議な感覚

受講翌日の夜に、明るく温かな安心感に満たされていることに、ふと気がつきました。

穏やかでしずかな感覚でありながら、日常の心配事の捉え方を変化させるような力を感じました。今もその余韻があります。

「これはまさか、“自我の奥”と関連する感覚なのか、あるいはもしかして、異心を祓うことができた結果なのか……！」

と、ついつい頭で考えたくなくなってしまおう自分(自我)を反省しています。

小野先生の講演会という私にとって初めてとなる時空間を過ごし、“今、生きている「いのち」は知識や理屈ではない、はじめからこの世界は一つである”という先生の思いが部屋中に届き、心身が受け取り、これまでにない影響があったのではないかと思っています。

小野先生、このたびは貴重なお話をありがとうございました。次回の9月の講座も楽しみにしております。

.....

荒井さんによるレポート、ありがとうございました。

初めての体験とは、なんと素敵なものだろうと、あらためて感激を覚えております・・・！

まさに世阿弥の言う「初心忘るべからず」ではないでしょうか。

小野先生をよく知る方も、今回初めて小野先生の声聞いた方も、彼女と同じ思いと葛藤を日々繰り返していることでしょう。(祓わなければ・・・汗)

次回第2回の講座は、9月10日(木)19時より開催します！

ご関心がある方は是非御参加ください。

詳細こちら：<http://hayashibara-ch.jp/ono.html>

世界は大転換期へ。

これまでの考え方をあらため、新しい生き方が必要となっています。